

今後のごみ収集に対する戸別収集地区住民の意向調査結果について ～うぐいす団地町内会の事例～

1 はじめに

本市のごみ収集体制は、労務単価の上昇や人手不足といった課題に直面しており、戸別収集の全市拡大については、その実現への見通しが立たない状況に直面しています。このような背景のもと、今後のごみ収集のあり方を検討する上では、戸別収集地区の現状を把握することが不可欠となります。

本報告書は、戸別収集地区の一つであるうぐいす団地町内会の皆様の協力により、意向調査を実施した結果について取りまとめたものです。

2 うぐいす団地町内会の概要と意向調査結果

(1) 町内会の特徴

うぐいす団地町内会は、苫小牧市字錦岡に位置し、78世帯(令和7年4月1日現在)が居住し、75歳以上の方が約8割を占める高齢化の進んだ地域です。現在の収集方式は戸別収集ですが、一部では複数世帯でゴミ容器を寄せて利用する「おまとめ収集」も実施されています。

(2) 意向調査結果

うぐいす団地町内会における調査結果は、次のとおりです。

ア 令和7年8月20日 市から役員への説明

市職員が町内会役員に対し、市のごみ収集が直面する課題や、戸別収集における課題について詳細に説明。

⇒結果:役員からの提案を受け、地域住民アンケートの実施が決定。

イ 令和7年9月16日 地域住民アンケートの実施

町内会全世帯を対象に、戸別収集の評価(良かった点、悪かった点)と今後の収集方式に関する意向を調査するアンケートを実施。

⇒結果:約30%の世帯がステーション収集への変更を許容する意向を示した。

(アンケート結果詳細 別紙1)

ウ 令和7年11月18日 アンケート結果報告と協議

市はアンケート調査結果を町内会役員に報告し、今後のごみ収集について協議。

⇒結果:ステーション収集への変更を希望する世帯は変更を進めること、アンケート未回答世帯には個別訪問を実施することについて合意が形成された。

エ 令和7年12月4日 個別訪問とステーション設置の開始

アンケート未回答世帯への個別訪問を開始し、新型ゴミステーションの先行設置を実施。ステーション収集への変更を順次推進。

⇒結果:2025年12月18日時点で15世帯がステーション収集に変更し、4基のステーションが設置された。(ゴミステーション設置イメージ 別紙2)

3 意向調査から得られた知見

うぐいす団地町内会における一連の取り組みから、以下の知見が得られました。

(1) 住民との丁寧な対話と合意形成の重要性

ごみ収集方式の変更は、住民の生活に密接に関わるため、強制的な変更ではないという市の姿勢を明確に伝え、個別訪問等を通じて丁寧な説明を重ねることが不可欠です。しかし、個別訪問後も戸別収集継続を希望する世帯が多数存在することから、合意形成には相当な時間と労力を要することが改めて確認できました。

(2) 高性能な新型ごみステーション導入の有効性

苫小牧工業高等専門学校と日軽北海道株式会社が共同開発した新型ごみステーションは、オールステンレスのメッシュタイプで風災に強く、積雪時にも高い耐久性を発揮することが実証されました。こうした高性能なステーションは、住民が抱くごみ散乱や悪天候時の不安を払拭し、ステーション収集への移行意欲を高める上で有効な手段となります。

(3) 町内会との継続的な連携と情報共有の必要性

ステーション収集の移行を円滑に進めるためには、町内会との密接な連携が不可欠です。町内会からの情報提供や住民への協力依頼を通じて、戸別収集継続希望者への個別アプローチや、新型ステーションの使用感に関する情報共有を進めることが、他の戸別収集地区への展開における重要なモデルケースとなります。

(4) ごみ出し困難者への配慮の重要性

戸別収集継続を希望する声の中には、高齢や身体的な理由からごみ出しが困難であるという切実なニーズが多く含まれていました。ステーション収集への移行を検討する際には、こうしたごみ出し困難者への個別支援策(例:戸別収集 85 の周知と活用促進)を並行して強化していく必要があることを再確認しました。

4 今後の展望

本調査を通じて、戸別収集地区においてもステーション収集への変更を希望する方が一定数いること、また、ステーション収集についての衛生面からの不安等についても新型ごみステーションで払拭できる可能性があることがわかりました。

市では今後、今回のうぐいす団地町内会の皆様の協力により得られた知見を活かし、これをモデルケースとして、他の戸別収集地区へのアプローチをしていくことで持続可能なごみ収集体制の構築を目指します。

アンケート調査結果

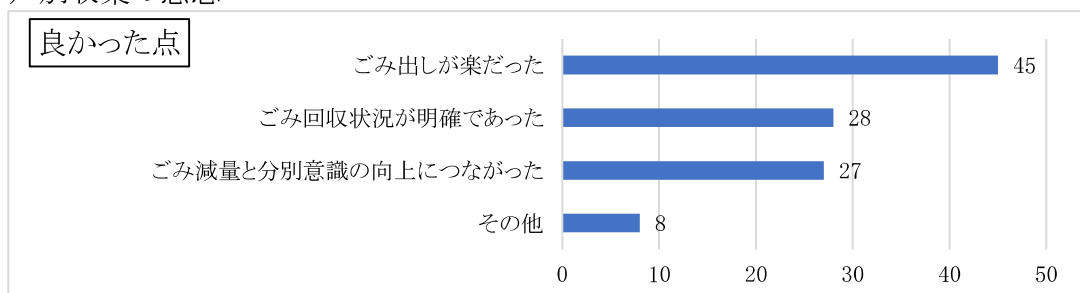
(1) 概要

- ア 調査対象 うぐいす団地町内会の住民(76 世帯)
- イ 調査方法 町内会役員から配布、回答は町内会館の連絡用ポストに投函
- ウ 実施時期 令和 7 年 9 月 16 日(町内会役員へ配布依頼)～10 月 17 日(回答期限)
- エ 回収状況 有効回答率 67%(51 件)
- オ 調査様式 別添のとおり

(2) 調査結果

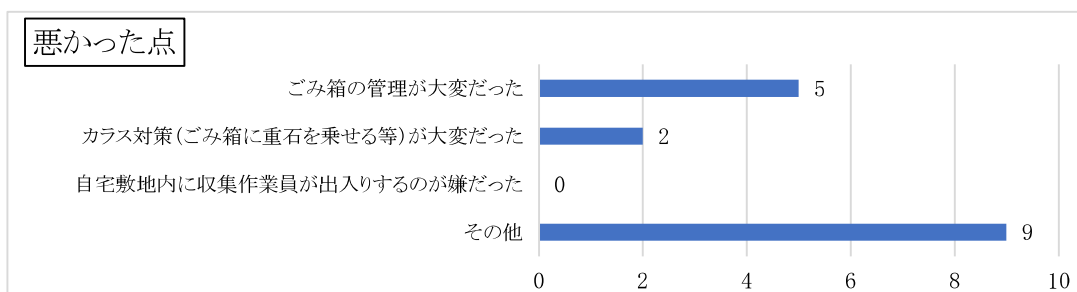
ア 世帯全員が 85 歳以上の世帯…5世帯

イ 戸別収集の感想



【自由記述】

- ・ ごみの散らかりがなくて良かった
- ・ 散らからなくて自宅前がきれい良かった
- ・ 道路が凍っている時期、ゴミ出しが楽
- ・ 燃えないゴミなど、重い時
- ・ ごみ回収容器の配布で大変良かった
- ・ 猫、カラス等の被害があっても自己の責任。納得ができるから
- ・ 地元でも戸別収集だったので
- ・ ステーション収集希望です。戸別収集だと出かけた時にごみ箱が気になるから

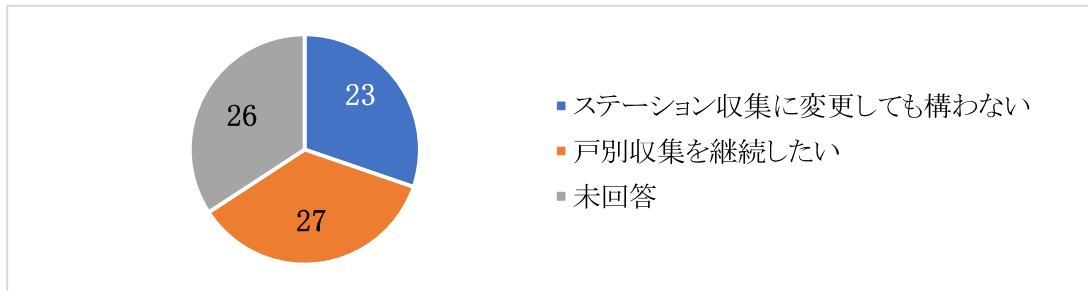


【自由記述】

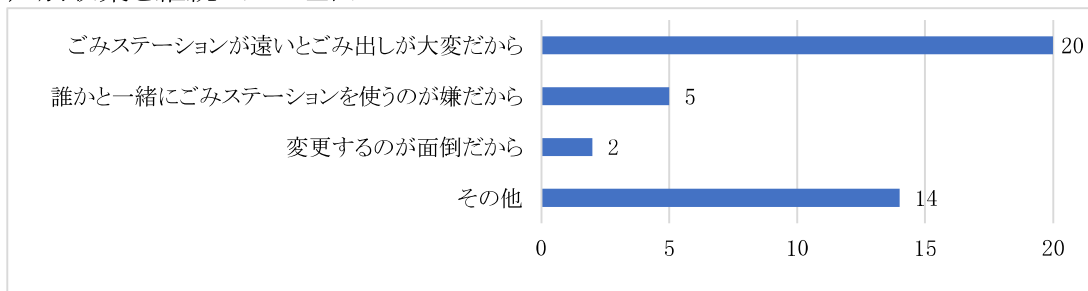
- ・ プラごみは大きい袋で出すので入りきらず、カラスに荒らされないか心配だった
- ・ ごみ箱に入りきらない量の時が困った(カラス等)
- ・ 個人の敷地の前にごみ箱をおくと迷惑がかかる 猫が多い

- ・ 途中から何軒かまとめて敷地外の収集になっている 戸別ごみ箱で出す必要はあるのでしょうか
- ・ 収集作業員が常に足早の為転倒事故(凍結路面で)が気がかりな状況にある(安全問題として)
- ・ 強風時、水入りペットボトルを重しにしても不安なことがあった
- ・ 特になし・・・同様の意見3件

ウ 今後のごみ収集方式について



エ 戸別収集を継続したい理由



【自由記述】

- ・ ステーションの周りがごみで汚れる事が多かった
- ・ カラス対策をしたごみステーションじゃないと周りが汚れてしまう
- ・ きれいにしてくれるか、関係のない日に出しっぱなし、放置はないか心配
- ・ 他の人のごみがてきとうで、汚れ、片付けるのが大変です。分別出来ていない。何故か散らかる。野生動物が集まりやすい。
- ・ ごみ箱の中だと、カラス、猫に荒らされる心配がない
- ・ それぞれがごみ箱の管理をするので散らからない
- ・ 高齢で足が悪く、歩行困難なため
- ・ 冬に雪積があった時に大変だからです(足が弱くなり、滑っても困るので)
- ・ 折角慣れてきたのに元に戻す必要ない 業者が大変なのは戸別収集時にわかっていたはずだ
- ・ 自宅にごみ入れを設置しているため
- ・ 毎回見ている方がいたのでストレス 場所を家の窓等から見えない所へ移動してほしい
- ・ 分別意識が上がり節約意識高まる、健康状態よくないので
- ・ 個人の敷地の前にごみ箱を置くと迷惑だから
- ・ その時によってごみの量が増減するので

うぐいす団地町内会の皆さまへ
ごみの収集方式に関してご意見をお聞かせください

本市の家庭ごみ収集につきましては、ふくしのまちづくりの一環として、戸別収集の拡大を目指してきたところです。

しかしながら、世界的な物価高騰や人手不足など、現在、全市拡大については、その実現への見通しが立たないという状況について、先日、町内会役員の皆さまに説明させていただいたところです。

つきましては、会員の皆さまの戸別収集に対するご感想と、今後のごみの収集方式について、改めてお考えをお聞かせいただきますようお願い申し上げます。

📌 収集方式による比較

	戸別収集	ステーション収集
収集費用	ステーション収集よりも費用がかかる	—
管理責任	居住者本人	市
備考	ごみ箱が強風により飛散して車に接触した場合や、設置したごみ箱に人が接触して怪我をした場合などの損害賠償は、設置者責任となります。	



📌 市が行っている ごみ出しをサポートするサービス

ふれあい収集

日頃のごみ出しに困っている一人暮らしの高齢者や障がい者等の方々を対象に声かけを行いながら戸別に訪問しごみを収集するサービス
 (対象となる方：介護認定を受けている方、障害者手帳をお持ちの方など)

戸別収集85

85歳以上の世帯を対象に自宅前からごみを収集するサービス
 (対象となる方：4月1日時点で全員が85歳以上の世帯で、介護認定を受けておらず障害者手帳もお持ちでない方)

(裏に続きます)

【世帯基本情報】 はじめに、①～③の世帯基本情報の記入をお願いします。

① 世帯代表者氏名 _____

② 住 所 苫小牧市字錦岡 _____ - _____

③ 電話番号（連絡先） _____

※ 世帯全員が85歳以上の場合は右にチェックしてください。

問1 以下の各項目について、実際に戸別収集を実施してきた感想として該当するものにチェックしてください。（複数選択可）

(1) 良かった点

- ごみ出しが楽だった
- ごみ減量と分別意識の向上につながった
- ごみ回収状況が明確であった
- その他（ _____ ）

(2) 悪かった点

- ごみ箱の管理（収集時間に合わせたごみ箱の出し入れ等）が大変だった
- 自宅敷地内に収集作業員が出入りするのが嫌だった
- カラス対策（ごみ箱に重石を乗せる等）が大変だった
- その他（ _____ ）

問2 戸別収集は、作業量が多いため収集効率が悪く、物価高騰や人手不足などの影響で、全市拡大については、実現への見通しが立たない状況です。
今後のご自宅のごみ収集方式について、お考えをお聞かせください。

- ステーション収集に変更しても構わない → これで終了です。
- 戸別収集を継続したい → 問3へ

問3 問2で「戸別収集を継続したい」と答えた理由をお聞かせください。

- ごみステーションが遠いとごみ出しが大変だから
- 誰かと一緒にごみステーションを使うのが嫌だから
- 変更するのが面倒だから
- その他（ _____ ）

ご協力ありがとうございました。




ご記入いただきましたら、この用紙は、令和7年10月17日（金）までに、同封の封筒に入れ、町内会館の連絡用ポストに投函してください。



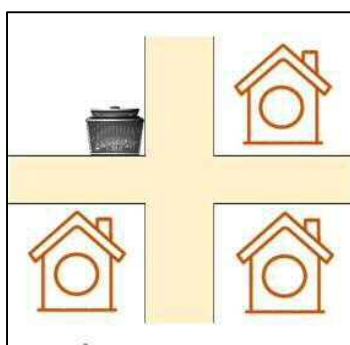
■お問い合わせ先

苫小牧市環境衛生部 ゼロごみ推進室 ゼロごみ推進課 電話 0144-55-426

ごみステーション設置イメージ

-  …ステーション収集に変更しても構わないと回答した世帯
-  …戸別収集を継続したいと回答した世帯
-  …未回答だった世帯

【ケース1】

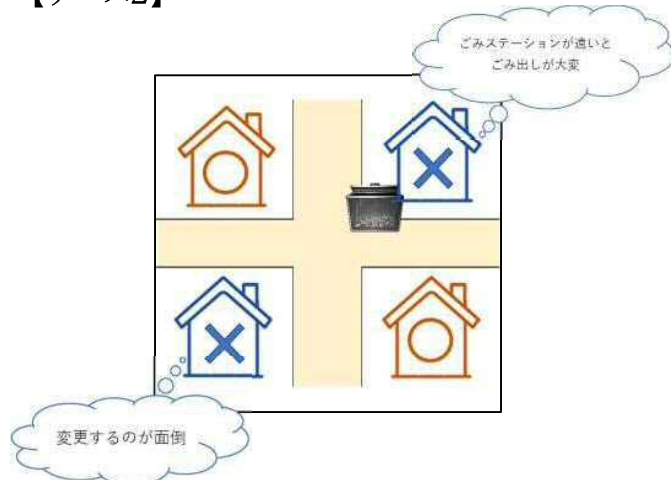


ステーション収集に変更しても構わないと回答した世帯が近くで固まっていた



3世帯がステーション収集に変更し、1基のステーションが設置された。

【ケース2】

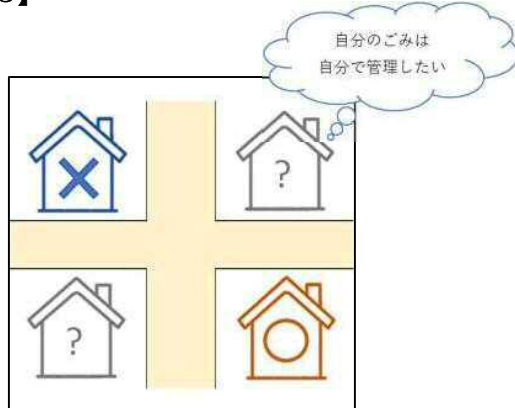


戸別収集の継続を希望する理由への対策を検討(例:「ステーションが遠いとごみ出しが大変」という声に対して、設置場所の提案・調整をした)



4世帯がステーション収集に変更し、1基のステーションが設置された。

【ケース3】



未回答だった世帯に個別で訪問し、意向を調査したところ、戸別収集の継続を強く希望していた。



ステーション収集に変更しても構わないと回答した世帯はいるが、周囲の協力が得られないため、ステーション収集に変更することはできない。